

# ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218  
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

1999年(平成11年)5月25日 No. 1125

## 目次

|                         |        |
|-------------------------|--------|
| 極東南部のガス化プログラム.....      | 中居孝文 1 |
| C I S 諸国通貨の最新為替レート..... | 11     |

## 極東南部のガス化プログラム

### はじめに

現在、ロシア極東地域ではサハリン大陸棚資源開発で産出される天然ガスの生産物分与契約で取り決められたロシア側取り分を利用した極東南部(サハリン州、ハバロフスク地方、沿海地方)のガス化が検討され、この件に関する連邦プログラムが準備されている。

極東南部のガス化プログラムは、サハリン～ハバロフスク～ウラジオストク間に総延長約1,600kmのガス幹線パイプラインを敷設し、パイプライン沿線の発電所や工業企業の燃料源を天然ガスに転換、また都市および農村にガスを生活燃料として供給するという壮大な計画である(総投資額約40億ドル)。

このプログラムの概要は日本でもすでに紹介されている。ロシア側は日本に同計画への参加を期待しており、また日本側もそれに関心を示している。現在、経団連の日ロ経済委員会がロシア側と検討している極東6プロジェクトのうちの一つ、「サハリン～コムソモリスク・ナ・アムール～ハバロフスク～ウラジオストク間天然ガスパイプライン建設」がそれである。

以下では、極東南部ガス化プログラムの概要を説明し、そのロシア極東経済に与える効果および日本の協力の可能性などを検討する。

### 1. 極東南部ガス化プログラムの概要

連邦プログラム「サハリン州、ハバロフスク地方および沿海地方のガス化(以下、極東南部ガス化プログラム)」に関する提案は1996年春にロシア政府の支持を得て、ロシア燃料エネルギー省の指示のもとサハリンモルネチェガスを中心に各研究機関、上記3州・地方が参加して作成の